

⑤	④	③	②	①
空気	イ	ウ	東京	空
			新かん線	地上

「かいせつ」

次のように書いてあります。

（１）雲ときりはどちらも小さな水のつぶの集まりで、空にあるものを雲、地上にあるものをきりとよんでいるのです。

（２）新かん線で東京に向かっていたのですが、

（３）「ここまでが雲でここからがきり」のような区別はありませんでした。

（４）雲は生まれたり消えたりしているのです。

（５）空気から雲は生まれるということになります。

⑤	④	③	②	①
下がったとき	(空気中の)水じょう気	じょう発 ^{はっ}	百度 ^ど	見えない

「かいせつ」

次のように書いてあります。

(1) 水じょう気そのものは目には見えませんので、

(2) えき体の水はねっして百度になると気体になります。

(3) 百度よりひくい温度の水も、表面からは、少しづつ気体にかわっていきます。このことをじょう発といいます。

(4) この水じょう気をもとにして、雲はできるのです。

(5) 雲が生まれるのは、空気の温度が下がったときなのです。

⑤	④	③	②	①
水	ウ	イ	東京	小さな水のつぶ
			新かん線	

「かいせつ」

次のように書いてあります。

（１）雲ときりはどちらも小さな水のつぶの集まりで、空にあるものを雲、地上にあるものをきりとよんでいるのです。

（２）新かん線で東京に向かっていたので、

（３）「ここまでが雲でここからがきり」のような区別はありませんでした。

（４）雲は生まれたり消えたりしているのです。

（５）空気から雲は生まれるということになります。雲は水のつぶですから、空気から水が生まれるということになりますね。

⑤	④	③	②	①
ウ	つめたく	表面 ひょうめん	ねっする(ねっしていく)	水じょう気

「かいせつ」

次のように書いてあります。

(1) 空気中にあるものは、同じ水でも気体、つまり水じょう気です。

(2) たとえばなべに水を入れて、コンロでねっしていくと、やがてなべのそこからあわが始めます。このあわに入っているものが水じょう気です。

(3) 百度よりひくい温度の水も、表面からは、少しづつ気体にかわっていききます。このことをじょう発といいます。

(4) ガラスは車内の空気よりつめたくなっています。

(5) ひやされることで、水じょう気からえき体の水ができます。



⑤	④	③	②	①
けむり(のつぶ)	まどガラス	あたたかくしめった空気	下がる(ひくくなる)	軽 ^{かる} くなる

「かいせつ」

次のように書いてあります。

(1) 空気は、あたためられるとふくらんで軽くなります。

(2) すると今度は、空気の温度がだんだん下がってきます。

(3) 入道雲ができるころの、地面の近くのあたたかくしめった空気は、

(4) ところで、バスではまどガラスに水がつきました。

(5) 空気中にはけむりのつぶや細かい土のつぶが……、この小さなつぶを中心に、水のつぶはできていきます。



⑤	④	③	②	①
細かい土(のつぶ)	水のつぶ	ひやされる	上がっていつて	ふくらんで

「かいせつ」

次のように書いてあります。

(1) 空気は、あたためられるとふくらんで軽くなります。

(2) 入道雲は、あたためられた空気がどんどん上がっていつてつくられたものなのです。

(3) 空気がひやされると、水じょう気から水のつぶができるわけです。

(4) ところで、バスではまどガラスに水のつぶがつきました。

(5) 空気中にはけむりのつぶや細かい土のつぶがとんでいます……この小さなつぶを中心に、水のつぶはできていきます。